

6. 全体研修会

グループディスカッション

「自治会長、沖縄大学学生、沖縄大学長、行政、企業、那覇市社会福祉協議会、沖縄大ボランティアサークルUniが参加しての共創の時間。

学生発表、シンポジウムを受け、グループディスカッションを行い、沢山の議論の中で、具体的な提案がいくつかなされました。」

1グループ

ファシリテーター：又吉 盛太（那覇市まちづくり協働推進課）

メンバー 宮里 皓会長（あけぼの団地自治会）

金城 孝会長（仲井間ハイツ自治会）

砂川さん（沖縄国際大学Uni）

ぜんゆうさん（沖縄大学）

～グループディスカッションのテーマ～ 若者が自治会に関わるにはどうしたらいいか。

①地域づくり

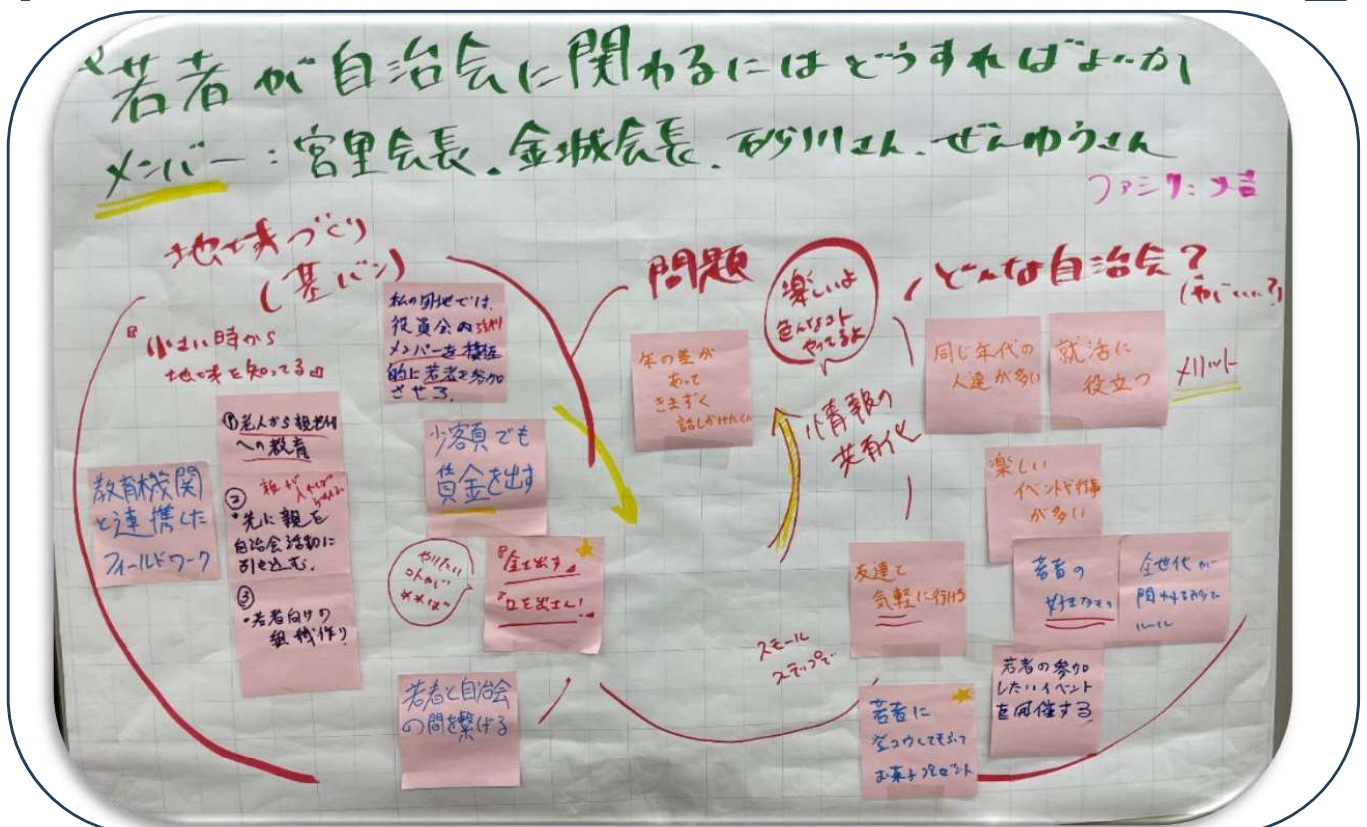
- ・教育機関と連携したフィールドワーク ・若者向けの組織作り
- ・高齢者から親世代への教育。先に親を自治会活動に引き込む。
- ・少額でも賃金を出す ・『金は出す』『口は出さん！』
- ・若者を積極的に役員に参加させる

②どんな自治会がいい？

- ・同じ年代の人が多い ・就職活動に役立つ
- ・楽しいイベントが多い ・友達と気軽に行ける
- ・全世代が関われる ・若者が好きな参加したいイベントの開催

③情報の共有化

- ・SNSを活用して『楽しいよ！』『色んなコトやってるよ』と情報を発信する。



2グループ

ファシリテーター：金城 早希（那覇市まちづくり協働推進課）

メンバー 友利 榮吉（壺川市営住宅自治会）

島仲 哲雄（大名市営住宅自治会）

ありささん（沖縄大学）

りともさん（沖縄国際大学Uni）

～グループディスカッションのテーマ～ 若者が自治会に関わるにはどうしたらいいか。

①季節のイベント開催

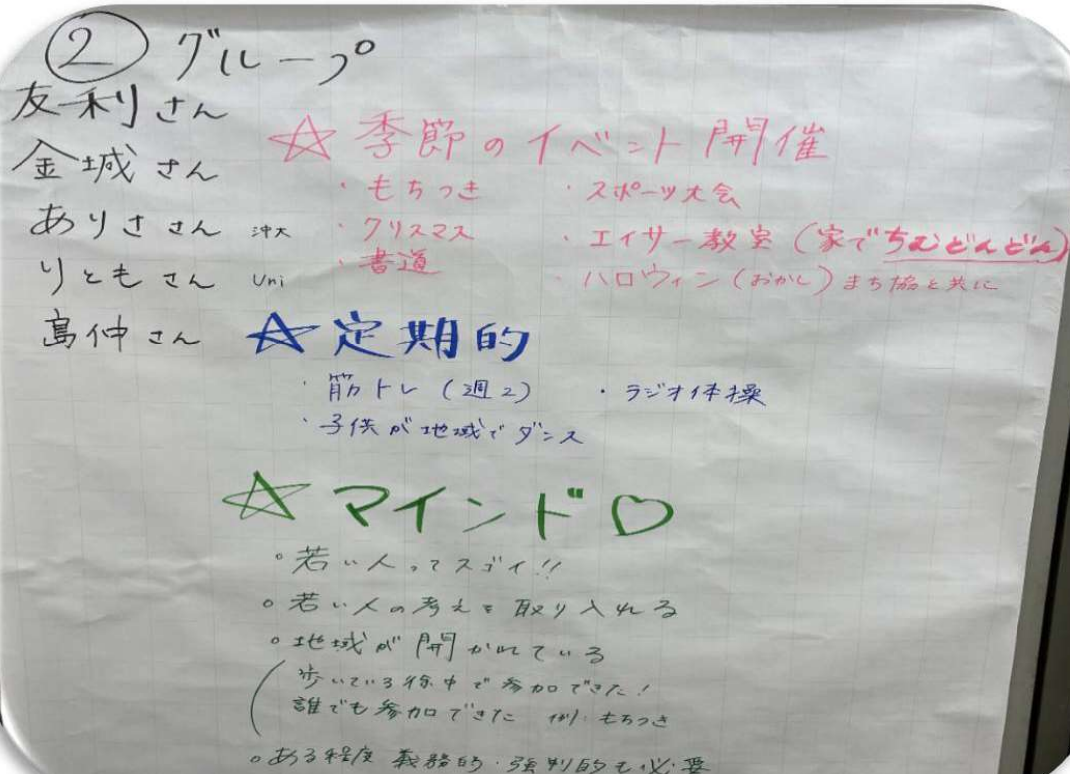
- ・もちつき ・クリスマス ・書道 ・スポーツ大会
- ・エイサー教室 ・ハロウィン

②定期的な活動

- ・筋トレ(週2回) ・ラジオ体操
- ・子どもが地域でダンス

③マインド

- ・若い人ってスゴイ！！ ・若い人の考えを取り入れる
- ・地域が開かれている
(歩いている途中で参加できた。誰でも参加できた。)
- ・ある程度、義務的、強制的も必要



3グループ

ファシリテーター：前原 信達（銘苅新都心自治会）

メンバー 上原 誠（宮城自治会）

田島 繁（県営国場団地自治会）

安座間 桜音（沖縄大学）

又吉 彩愛（沖縄国際大学Uni）

上江田 裕斗（沖縄国際大学Uni）

～グループディスカッションのテーマ～ 若者が自治会に関わるにはどうしたらいいか。

・企画・イベント運営

- ・若者と一緒に語り合いスポーツをする
- ・スポーツレクなど新たなイベントを考える（モルック等）
- ・企画・運営を若者も一緒に行う
- ・ダンスイベントやダンスサークル等を作る
- ・まず仲間と一緒に何かを始めること（ゴミ拾いでもOK）
- ・青年会活動（旗頭・エイサー等）で伝統的な活動を行い、若者を呼び込む

・情報発信

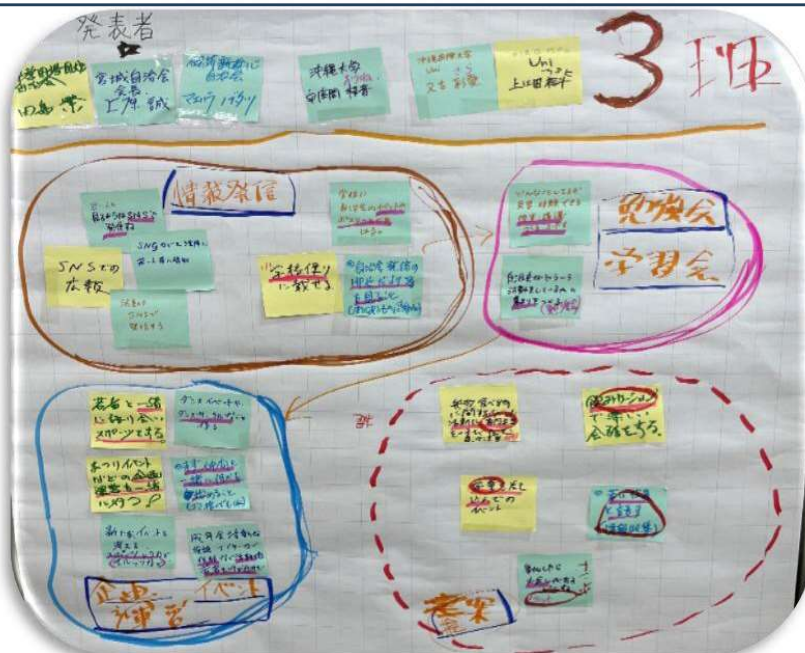
- ・SMSでの広報 ・若い人も見るようなSNSで発信する
- ・学校便りに載せる ・学校に自治会イベントポスターを貼る
- ・自治会発信のHPや自治会便りを見る（関心ある人は参加）

・勉強会、学習会

- ・自治会がどんなことをしているのかを見学・体験できる
授業・講義をつくる・増やす、
- ・自治会がどういう活動をしているかの集まりをつくる

・その他、提案

- ・弁当、食べ物に関するイベントに専門学生を呼び込む ・飲みニケーション
- ・学童を巻き込んでのイベント ・若い役員と話す（情報収集）



4グループ

ファシリテーター：高野 大秋（那覇市社会福祉協議会）

メンバー 内間 正芳（県営古蔵自治会）

比嘉 勉（真地団地自治会）

川満さん（沖縄大学）

新垣さん（沖縄国際大学Uni）

～グループディスカッションのテーマ～ 若者が自治会に関わるにはどうしたらいいか。

①若者と高齢者が交流できるイベント

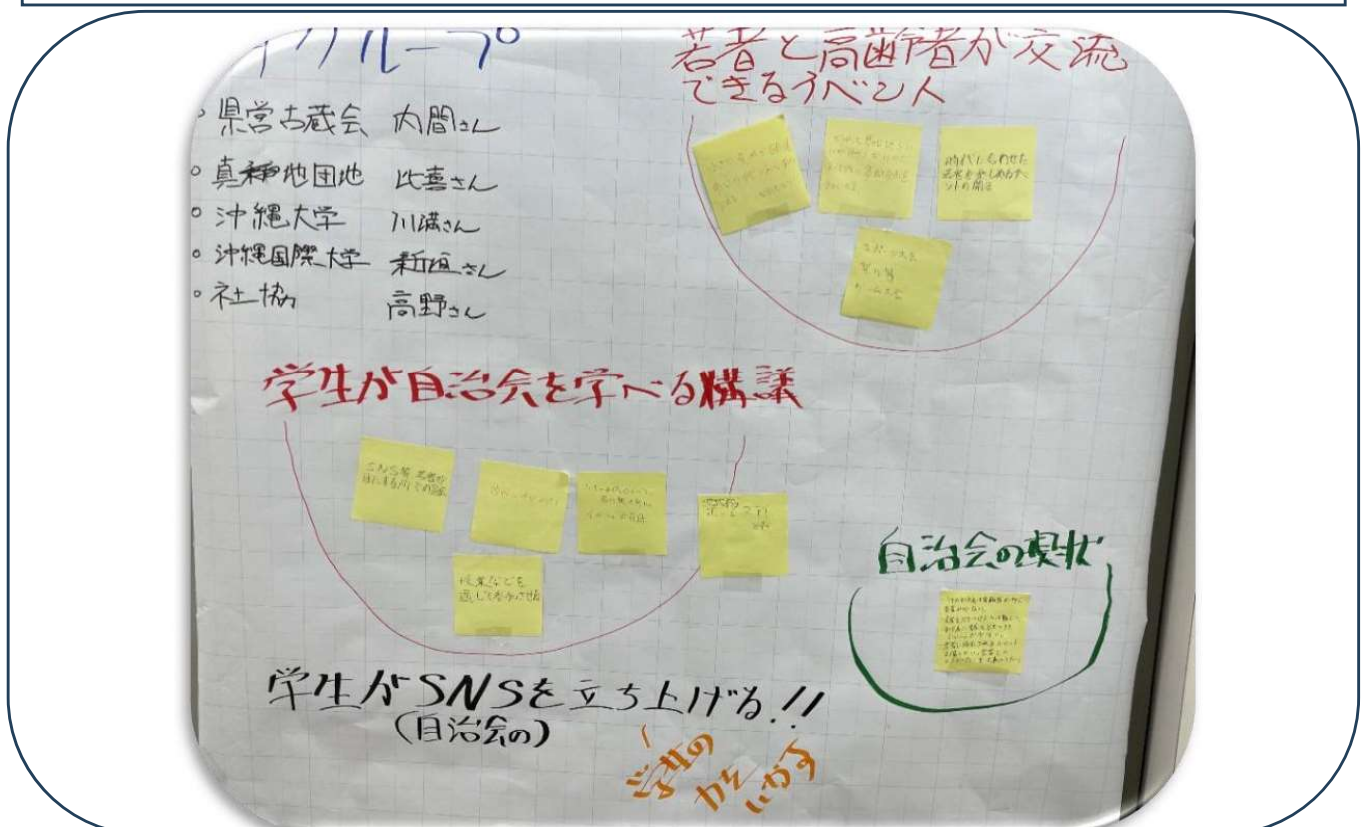
- ・ 幼い頃から自分達中心のイベントに関わらせる（綱引き等）
- ・ 時代に合わせた若者が楽しめるイベントの開催
- ・ 具体的な参加方法を知らせる
- ・ スポーツ大会、祭り、ゲーム大会

②学生が自治会を学べる講義

- ・ 授業などを通して参加させる
- ・ SNS等、若者が目にする所で宣伝 ・ 地域版ホームステイ
- ・ 小さい子どものイベント。若い親の参加

③学生が自治会のSNSを立ち上げる

- ・ 学生の力を活かす



5グループ

ファシリテーター：謝名堂 聡（石嶺ひよい自治会）

メンバー 照屋 節子（宮城区南自治会）

上原 博（小禄支部長）

山代 寛（沖縄大学・学長）

上原 大和（沖縄大学）

大迫 蘭（沖縄国際大学Uni）

～グループディスカッションのテーマ～ 若者が自治会に関わるにはどうしたらいいか。

- ・ 若者が興味関心を持ちやすいイベントを企画する
- ・ 世代間で交流できるイベントの開催（スポーツ等）
- ・ 大学でのコーディネーション機能（地域連携の部署を強化する）
- ・ ゼミ・サークルの自治会への働きかけを促す
- ・ SNS運用の充実
- ・ 若い夫婦の意見を取り入れる
（新しい活動。若い人が取り組んで欲しい事。）
- ・ 協力者等へ感謝を伝える
- ・ 活動に対し、ボランティア証明等の特典をつける
- ・ 若者同士複数人での参加を促す

① 自治体に対するイメージ

- ・ 活動内容が分からない・草刈り等している
- ・ つきあいのわずらわしさ
- ・ イベント参加に強制感がある（お金がとられる）
- ・ 同じ人が同じ事を行っている（仕方なくて参加できない）
- ・ 地域内での行事やイベントもしている

② どのようにすれば興味を持っていただけるか

- ・ 若者の興味関心に沿ったイベントの企画
- ・ スポーツ等を通して交流できるようなイベント（世代間）
- ・ 大学でのコーディネーション機能（地域連携の部署）
- ・ ゼミ・サークルへの自治体のはたらきかけ（強化）
- ・ SNS運用の充実
- ・ 若い夫婦の意見を取り入れる（新しい活動、若い人が取り組んで欲しい事）
- ・ 話題が多く楽しく話す
- ・ 感謝を伝える
- ・ ボランティア証明等の特典がある
- ・ 複数人（若者）での参加を促す

<メンバー>

沖大：上原大和 山代寛
オバ：大迫蘭
日南会：上原博 照屋節子 謝名堂聡

5期生

7グループ

ファシリテーター：吉田 りお（那覇市まちづくり協働推進課）

メンバー 島尻 香雄（寄宮自治会）

嘉数 正秋（国場自治会）

りゅうきさん（沖縄大学）

れんきさん（沖縄大学）

ちかさん（沖縄大学）

あかりさん（沖縄国際大学Uni）

～グループディスカッションのテーマ～ 若者が自治会に関わるにはどうしたらいいか。

①自治会が行うイベントへの参加について

若者のニーズを「聞いて」

若者もイベント運営に関われる環境づくり

②情報発信

SNSの活用

若者が見える場所にも宣伝

③学校と地域の連携

小・中・高校、大学と繋がって、自治会から学校へ、
学校から自治会へ相互に出向き学習

7G

若者

- ・SNS活用
- ・若者のニーズを「聞いて」
- ・若い人が見える場所にも宣伝して
- ・参加方法をわかりやすく
- ・「できる」環境づくり
- ・外の学習も楽しい

- 参加者！ 島尻さん、嘉数さん
- （沖大）りゅうきさん、れんきさん、ちかさん
- 自治会 あかり（Uni）
- ・SNS難しい
 - ・世代交代できていない（若＜250代↑）
 - ・学校とつながって、地域に派遣してほしい
 - ・イベント運営には関係ある
 - ・若い人が多い（参加は有る）
 - ・地域の人が出ていってほしい

8グループ

ファシリテーター：山田 めぐみ（那覇市まちづくり協働推進課）

メンバー 末吉 ヒサ子（石嶺ハイツ自治会）

門下 長徳（県営繁多川高層住宅自治会）

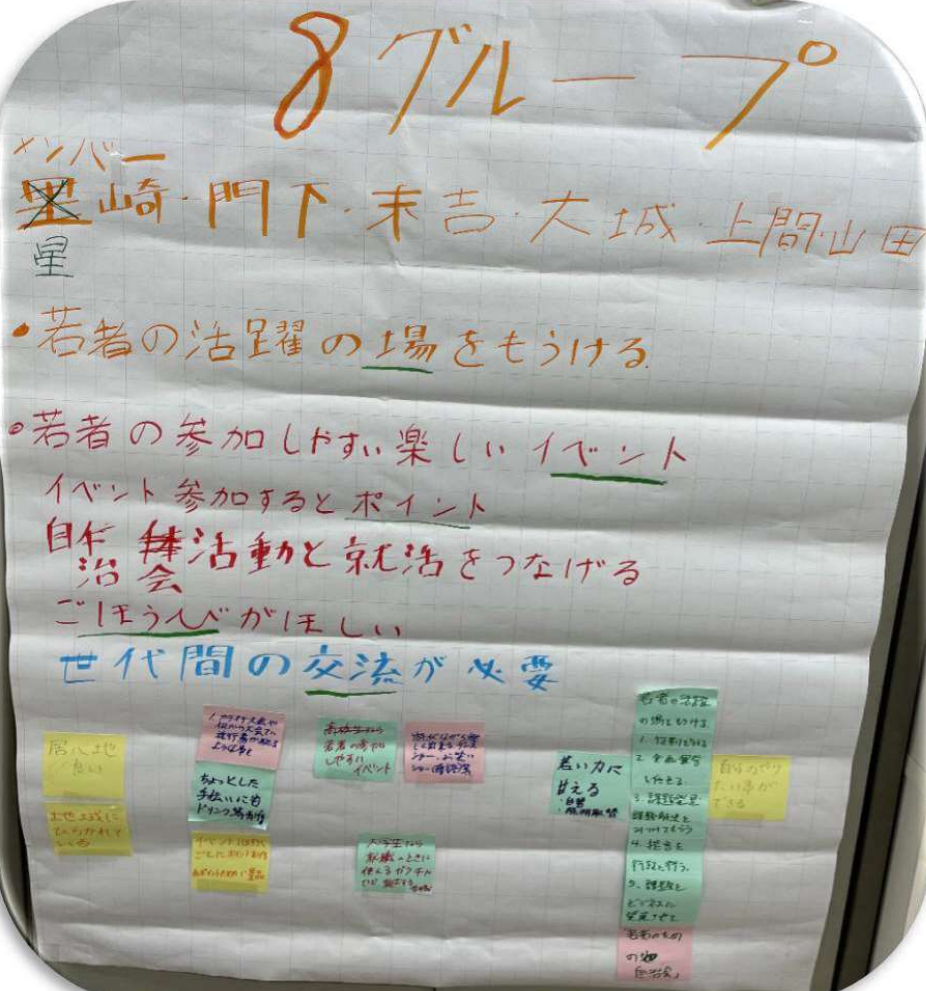
星崎 浩二（沖縄県中小企業家同友会）

大城さん（沖縄大学）

上間さん（沖縄国際大学Uni）

～グループディスカッションのテーマ～ 若者が自治会に関わるにはどうしたらいいか。

- ・ 若者の活躍の場を設ける
- ・ 若者も参加しやすい楽しいイベント
- ・ イベントの参加するとポイントがもらえる
- ・ 自治会活動と就職活動を繋げる
- ・ ご褒美が欲しい
- ・ 世代間の交流が必要



9グループ

ファシリテーター：真栄城 孝（那覇市社会福祉協議会）

メンバー 前田 節子（真地団地自治会）

迫田 実（久場川町自治会）

上原さん（沖縄大学）

神谷さん（沖縄国際大学Uni）

～グループディスカッションのテーマ～ 若者が自治会に関わるにはどうしたらいいか。

①自治会が行うイベントへの参加

祭り・夏まつり、花火大会、パークゴルフ大会、モルック大会

②情報発信

SNSの活用（若者へのアピール）

活用方法は学生から学ぶ。

③子ども会・青年会の活性化

学生がメリットになることを考える

ボランティア証明証の発行

企画・運営を若者に任せる

9グループ 参加者
前田 迫田 上原 神谷
ファシリテーター 真栄城

② 若者が自治会に関わるには？

① 自治会が行うイベントへの参加

例えば、祭り、花火大会
夏まつり、パークゴルフ等
モルック大会

② 情報発信

・SNSの活用、方法と学ぶこと（学び）

③ 子ども会・青年会の活性化

・ボランティア証明証の発行
（学生がメリットになることを考える）
・企画運営を若者にまかせる

10グループ

ファシリテーター：渡嘉敷 洋美（那覇市まちづくり協働推進課）

メンバー 上原 幸吉（新都心銘苅市営住宅自治会）

えりかさん（沖縄大学）

とむさん（沖縄国際大学Uni）

かのんさん（沖縄国際大学Uni）

～グループディスカッションのテーマ～ 若者が自治会に関わるにはどうしたらいいか。

①仕組み

- ・授業の一環として参加する（大学との連携）

②若者の参加

- ・地域の代表者がメリットやデメリットを報告し自治会長や役員が若者にきっかけやチャンスを与える。
- ・若者の声を聞く ・若い人が企画から運営まで行う
- ・若者が好きな行事をする ・家族、友人で参加できるイベント
- ・同世代と一緒に行事に参加し楽しく自治会を知るきっかけを作る

③SNSの活用

- ・SNSを活用し地域の魅力や行事をを発信する

④イベント

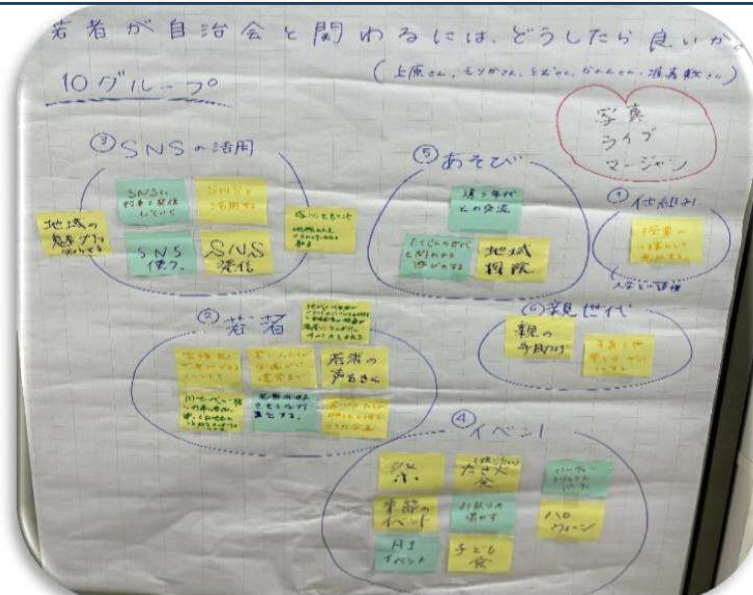
- ・季節のイベント（ハロウィン、クリスマスパーティー）を行う
- ・お祭りを増やす ・たき火会（焼きいも・マシュマロ）
- ・月1イベント ・子ども会

⑤あそび

- ・たくさんの世代と関われる遊びをする ・地域探検

⑤親世代

- ・子育て世帯をターゲットにする ・親の手助け



全体研修会 グループディスカッションの様子



全体研修会 グループディスカッションの様子



参 考 資 料

参加者アンケート

資料 参加者アンケート

1 本日の研修会はいかがでしたでしょうか。

・とても良かった（ 31 ） ・良かった（ 9 ） ・普通だった（ 0 ） ・あまり良くなかった（ 0 ）

2 今回の研修の感想やご意見、また次回の要望などございましたらご自由にご記入下さい。

<本庁管内>

- ・三者連携の初の企画は良かった！
- ・アイデアを活かしたい！
- ・団地の自治会を運営しています。今回大学生の意見・フィールドワーク等の報告を受け、いろいろ感じました。役員会等運営するメンバーが、高齢化が進んで、イベント企画等も思い通りにやれない。これからは、積極的に若者をスタッフになってもらい、若者の参加するイベントを開催したいと思います。
- ・沖縄大学の島袋ゼミの参加は良かった。次回も連合会にお任せいたします。

<真和志>

- ・大学生との交流ができた事が良かった。
- ・学生と一緒に過ごした時間がとても楽しかったです。また機会がありましたら必ず参加いたします。
- ・自治会長と学生と一緒に研修を行うことは自治会にとって次世代の担い手の即戦力として素晴らしいことです。社会人になっても、地域自治会に加入をお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。感謝、感謝です。
- ・学生の意見や提案を聞く事ができて良かった。次回も同様な機会があれば嬉しいです。
- ・若者の考えとギャップが大きいことに気づかされた・今回 6 自治会だったので時間が足りなかった。次回、発表数を検討していただきたい。参加していない自治会長へ、次回参加促進をお願いしたい。

<首里>

- ・今回の研修結果を、全自治会で共有する方法を検討してほしい。（配布だけでは勿体ない。）シンポジウムも良かった。
- ・学生との交流とても勉強になりました。次回も参加したいです。
- ・大学生の発表は素晴らしかったです。またこの様なゼミを開設した沖縄大学も感謝します。SNS等の活用はやはり有効なんだ、必要なんだと強く感じました。子どもや若者が参加したくなるイベントを工夫しないといけないと感じました。子ども会や青年が自ら企画運営するイベントを作っていきたいと思いました。有難うございました。

<小禄>

- ・次回の勉強会も是非とも招待してもらいたいです。SNSやLINEなどの話を色々聞きたいです。若い方を呼び込む方法を話し合いたい。

<市営住宅>

- ・一部：学生と自治会が座学とフィールドワークをしたことについて、今後の自治会活動について良い流れになりそうですね。持ち帰り実践したい。二部：シンポジウムについて、一部と同様大変良かった、持ち帰り実践したい。三部：グループディスカッションにて、自治会活動を考える今後素晴らしい活動ができそうです。
- ・SNSの活用、使い方を具体的に知りたい。ほかの自治会の活動を聞く事が出来て良かった。若者の力、子ども会の育成を改めて考える機会になった。

資料 参加者アンケート

< 沖縄大学 >

- ・実際の自治会の方々や学生が、一つ場で交流しながら意見交換できるというのは非常に良いことだと感じました。今回出た意見を自治会での活動に活かしていく事で、より良い地域コミュニティの形成に繋がると感じました。
- ・今の那覇市の様々な自治会の問題点や現状について知るとても良い機会に参加できて良かったと思いました。
- ・若い人が自治会に参加するため、自分では思いつかない考えが出てきて為になった。
- ・最後のグループに分かれて、意見を出し合った時に、今抱えている現状をより知れたことで、他の案も出て良かった。次は、自治会の人との交流の時間を増やしたほうが良いと感じた。
- ・自治会で実際に中心として活躍している方の話を聞けて良かったです。
- ・今回の研修会に参加して、自分の自治会や他の地域の自治会の活動を知れる機会があって、良い経験になった。また、自治会の色々な大人と関わって話し合うことで、自分のスキルアップに繋がったので良かった。
- ・大学のなすべきことについて考える機会になりました。
- ・とても勉強になりました。発表を上手くできるようになりたい。次は、1つの自治会に数日行って探求したい。
- ・自治会の人たちとこんなに関わる事がないので、様々な意見が聞けて面白かった。
- ・今回の研修で、あらゆる自治会の強み、弱み、課題を見つけ出し考える事ができた。やはり若者の参加が一番の課題であり、どの様なことをしたら参加ししてくれるのか、グループで考える事ができた。参加できてとても良かったと感じた。

< 沖縄国際大学Uni >

- ・普段関わらせていただいている松島自治会以外の取り組み等、様々な事を知れて貴重な経験になりました。ありがとうございました。
- ・自治会の皆さんの人柄や、現状、課題など、ユース自治大学に実際に来たことで初めて知る事が多くて、参加してとても良かった。これからもユニとして、自治会の皆さんと関わっていきたいと思った。今回の様に若者と自治会が意見交換できる場があるといいなと思う。
- ・自分にはない考えを聞く事ができ、知見を広げることができた
- ・初めてこの自治会全体研修会に参加してみて、那覇という限定した地域でも、自治会ごとに様々な特色や課題があることに気づきました。私たちの知らないところで自治会長さんは、地域の為に色々悩み考えていることが分かったので、私も力になりたいととても思いました。何か手伝えることがあれば、Uniに連絡してください！
- ・約半年間、学習支援という形で自治会との交流をしており、自治会について、よく理解しているつもりだったが、様々な方の意見を聞き、まだ自分が知らない事が多くあった。自分の視野を広げられる良い機会になった。
- ・自治会長さんや沖縄大学の学生さん、那覇市の職員さんなど、あまり話す機会の無い方々と話すことができて楽しかった。自分たちの活動にも役立てていく。
- ・自分からはどれだけ考えても浮かんでこないような案が多く、その発想から少しアレンジを加えた案や、追加でそこをそう変えたら尚良くなりそうなど、自分のアイディアにも影響があったので、すごく良い機会になりました。
- ・貴重な経験になりました。とても楽しかったです、ありがとうございます。ボランティアを運営する者として、がんばって自治会を支える役員の方が、損のないように、苦しくないようにできているのかがとても気になりました。また役員引継ぎ、世代交代にしても「大変そう」というイメージから近づきにくいのかなと考えます。これからも少しずつ地域のために学生と自治会が協力していければと思います。
- ・それぞれの自治会の現状と課題や、沖大生の考える問題の解決策について聴く事ができて学びが多かったです。今、自分たちがしている地域活動についても考えを深める事ができました。ありがとうございました。

< 一般 >

- ・若者の意見や、自治会への参加の入り口が知らないという事がわかった。SNSや他の情報発信など、告知など教えられることが多かった。
- ・モデル自治会を設定して、インターンの様な感じで、具体的な地域活動を考えてみたらどうだろう。
- ・自治会長と若者（学生）とが一緒に考える機会が設けられてとても有意義な意見交換会でした。今後の自治会、地域活動にヒントになる事が多くあり、良かったです。ありがとうございました。